

## ミズカマキリ

陸でよく見られるカマキリと似ているため、ミズカマキリと呼ばれています。

陸のカマキリとは異なり、水生のカメムシの仲間です。

体長は 40mm ほどで、前脚がカマ状で体型は長細く、お尻に長い呼吸管があります。

田んぼや池などに生息します。冬などに水が無くなると、水のある場所に飛んで移動します。学校のプールなどでも見られることがあります。

肉食性で、水草などに隠れてエサとなる小魚やオタマジャクシなどをじっと待ちます。捕まえると、口から消化液を出し、溶けた肉液をすすります。

11 月ころになると、水底の物かげなどで越冬します。4 月ころに目覚めた成虫は 5 月～7 月に交尾し、コケなどの湿ったところに産卵します。



### 富士市での現状

今回の調査では確認されませんでした。しかし、近い仲間のヒメミズカマキリは、小潤井川や旭化成のビオトープで見られました。田んぼや池の埋め立てや圃場整備（ほじょうせいび）などによる生息地の消滅やエサの減少などにより、個体数が減少していると考えられます。

### ミズカマキリを確認したメッシュ

